

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	国語	科目	文学国語	学年	2	単位	3
教科書(出版社)	新編 文学国語 (大修館書店)						
副教材等(出版社)	漢字ボックス (浜島書店) 漢字反復ノート (浜島書店)						

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩を味わう</li> <li>・ 明日をひらく</li> <li>・ 小説を楽しむ</li> <li>・ 古典の世界 1</li> <li>・ 表現を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「永訣の朝」 宮沢賢治</li> <li>・ 「そとみとなかみ」 角田光代</li> <li>・ 「晴れた空の下で」 江國香織</li> <li>・ 「児の飴食ひたること」 (『沙石集』)</li> <li>・ 「身内ほど厄介なものはない」 米原万里</li> </ul>	36
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典の世界 2</li> <li>・ 社会に生きる</li> <li>・ 読書の広場</li> <li>・ 古典の世界 2</li> <li>・ 名作を読む (二)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「月やあらぬ」 (『伊勢物語』)</li> <li>・ 「神去なあなあ日常」 三浦しをん</li> <li>・ 「鉄道員」 浅田次郎</li> <li>・ 「かぐや姫の昇天」 (『竹取物語』)</li> <li>・ 「こころ」 夏目漱石</li> </ul>	45
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名作を読む (二)</li> <li>・ 古典の世界 3</li> <li>・ 社会に生きる</li> <li>・ 小説を楽しむ (一)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こころ」 夏目漱石</li> <li>・ 「はしたなきもの」 (『枕草子』)</li> <li>・ 「鞆」 安部公房</li> <li>・ 「ナイン」 井上ひさし</li> </ul>	

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・授業 ・定期考査 ・提出物	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景についてある程度理解を深め、文章の中で使うことができる。	我が国の言語文化に特徴的な語句を学ぶが、それらの文化的背景について理解できておらず、文章の中で正しく使うことができない。
【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	・授業 ・定期考査 ・提出物	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方をある程度深め、我が国の言語文化について考えることができる。	作品の内容や多様な解釈への理解ができず、他者との関わりに消極的であり、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができない。
【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・授業 ・定期考査 ・提出物	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢が薄い。

※具体的な評価方法等

- ・授業時における発言や記述内容
- ・定期考査の素点
- ・授業プリントの完成度

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	2	単位	2
教科書(出版社)	高校生の地理総合(帝国書院)、標準高等地図(帝国書院)						
副教材等(出版社)	なし						

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する基本的な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを説明する力を養う。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や理解を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図や地理情報システムと現代世界</li> <li>・ 結びつきを深める現代世界</li> <li>・ 生活文化の多様性と国際理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球儀と地図</li> <li>・ 地図と地理情報システム</li> <li>・ 現代世界の国家と領域</li> <li>・ 地図から見る国内や国家間の結びつき</li> <li>・ 生活文化の多様性</li> <li>・ 世界の地形と人々の生活</li> </ul>	24
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活文化の多様性と国際理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の気候と人々の生活</li> <li>・ 世界の産業と人々の生活</li> <li>・ 世界の宗教・民族・言語と人々の生活</li> <li>・ 多様な生活文化と地理的環境</li> </ul>	30
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球的課題と国際協力</li> <li>・ 自然環境と防災</li> <li>・ 生活圏の調査と地域の展望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑に絡み合う地球的課題</li> <li>・ 人口問題</li> <li>・ 食料問題</li> <li>・ 都市・居住問題</li> <li>・ 資源・エネルギー問題</li> <li>・ 地球環境問題</li> <li>・ 日本の自然環境</li> <li>・ 地震・津波や火山活動による災害と防災</li> <li>・ 気象災害と防災</li> <li>・ 自然災害への備え</li> <li>・ 事前調査と現地調査</li> </ul>	16

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から基本的な情報を適切に調べまとめている。	・定期考査 ・小テスト	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを十分に理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを概ね理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から基本的な情報を適切かつ調べられている。	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などの理解が不十分であり、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から基本的な情報を調べられていない。
【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを説明できている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・提出物の取り組み	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に説明できている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを概ね説明できている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、地域などに着目して考察し、地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを説明できていない。
【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業の取り組み ・提出物の取り組み	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を追究、解決しようとしている。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を追究、解決しようとする姿勢が不十分である。

※具体的な評価方法等

- ・定期考査の素点
- ・小テストの素点
- ・プリント等提出物の提出状況、取り組み内容
- ・授業中の取り組み状況、発言

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	数学	科目	数学A	学年	2	単位	2
教科書(出版社)		最新 数学A					
副教材等(出版社)							

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力, 判断力, 表現力等】	【学びに向かう力, 人間性等】
図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●場合の数               <ul style="list-style-type: none"> <li>○集合</li> <li>○集合の要素の個数</li> <li>○樹形図・和の法則・積の法則</li> <li>○順列</li> <li>○円順列と重複順列</li> <li>○組合せ</li> </ul> </li> <li>●確率               <ul style="list-style-type: none"> <li>○確率の意味</li> <li>○確率の計算</li> <li>○確率の基本性質</li> <li>○和事象の確率</li> <li>○余事象の確率</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>●確率の意味や基本的な法則についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>	24
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○独立な試行の確率</li> <li>○反復試行の確率</li> <li>○条件付き確率</li> <li>○期待値</li> <li>●三角形の性質               <ul style="list-style-type: none"> <li>○角の二等分線と比</li> <li>○三角形の外心, 内心, 重心</li> </ul> </li> <li>○チェバの定理・メネラウスの定理</li> <li>●円の性質               <ul style="list-style-type: none"> <li>○円周角の定理</li> <li>○円に内接する四角形</li> <li>○円と接線</li> <li>○接線と弦の作る角</li> <li>○方べきの定理</li> <li>○2つの円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三角形の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>●円の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>	30
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●約数と倍数               <ul style="list-style-type: none"> <li>○約数と倍数</li> <li>○素数と素因数分解</li> <li>○整数の割り算</li> </ul> </li> <li>●1次不定方程式               <ul style="list-style-type: none"> <li>○最大公約数</li> <li>○ユークリッドの互除法</li> <li>○1次不定不等式</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまな人間の活動の中から, 整数を中心とした数学的な要素を見出し, 数学の内容の理解を深めると同時に, 現実の事象を, 数学を用いて考察できるような力を培う。</li> </ul>	16

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】	定期考査 確認テスト	次の両項目に該当する。 ① 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ② 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	次の2項目のうち、1項目に該当する。 ① 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ② 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	次の2項目のうち、いずれにも該当しない。 ① 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ② 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	定期考査 レポート	次の3項目のうち、2項目以上に該当する。 ① 数学を活用して事象を論理的に考察することができる。 ② 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。 ③ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	次の3項目のうち、1項目に該当する。 ① 数学を活用して事象を論理的に考察することができる。 ② 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。 ③ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	次の3項目のうち、いずれにも該当しない。 ① 数学を活用して事象を論理的に考察することができる。 ② 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。 ③ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】	リフレクションシート 解説ノート 自己調整課題テスト	次の3項目のうち、2項目以上に該当する。 ① 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。 ② 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ③ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	次の3項目のうち、1項目に該当する。 ① 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。 ② 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ③ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	次の3項目のうち、いずれにも該当しない。 ① 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。 ② 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ③ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	学年	2	単位	2
教科書(出版社)		科学と人間生活(実教出版)					
副教材等(出版社)		なし					

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	2章 物質の科学 ・生活の中のさまざまな物質 ・金属 ・プラスチック ・リサイクル、SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質のなりたち、原子の構造、化学結合</li> <li>・化学実験の基礎</li> <li>・金属結合、金属の特徴と性質</li> <li>・合金(黄銅)の作成</li> <li>・プラスチックの性質と利用</li> <li>・プラスチックの分類</li> <li>・機能性高分子化合物</li> <li>・廃プラスチックの処理、3R</li> <li>・SDGs、環境にやさしい文房具を考える(発表活動)</li> </ul>	24
2	3章 生命の科学 ・私たちの生活環境と眼 ・ヒトの生命活動と健康の維持  4章 光や熱の科学 ・熱 ・熱の発生 ・エネルギーの変換と利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内時計</li> <li>・ヒトの眼の構造、視覚の発生、錯視</li> <li>・眼の役割(発表活動)</li> <li>・血液の成分と役割</li> <li>・免疫、抗原抗体反応、ワクチン</li> <li>・温度と熱、熱運動</li> <li>・熱量、熱量の保存</li> <li>・仕事と熱、仕事とエネルギー、エネルギーと発熱</li> <li>・エネルギー変換</li> <li>・再生可能エネルギー(発表活動)</li> </ul>	30
3	5章 宇宙や地球の科学 ・身近な景観のなりたち ・地球内部のエネルギー ・自然の恵みと自然災害 ・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの景観、山地・平地の形成</li> <li>・世界の絶景について(発表活動)</li> <li>・プレートテクトニクス、日本の火山活動、地震活動</li> <li>・さまざまな自然災害、防災(発表活動)</li> </ul>	16

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】	・定期考査 ・小テスト	与えられた課題に対して、十分に(80%以上)理解している。	与えられた課題に対して、半分程度の理解をしている。	課題を理解していない。課題に取り組んでいない。
【思考力、判断力、表現力等】	・定期考査 ・実験、授業プリント等の記述 ・課題の内容 ・発表活動の内容	与えられた問に論理的に考え、表現することができる。 考察や自分の考えをまとめ、表現できる。 発表活動で発展的な課題を生成することができる。	与えられた問に答えることができる。 実験データの整理を行うことができる。 発表活動に自発的に取り組むことができる。	与えられた問に答えることができない。 実験結果の記録が不十分だったり、考察などデータの整理ができていない。 発表活動における調べ活動を行わない。
【学びに向かう力、人間性等】	・振り返りシートの記入 ・スタディサプリの取組状況 ・授業プリント等の提出状況 ・発表活動の取組状況	授業の振り返りを粘り強く取り組み、自己調整に活かしている。 プリントの記載を工夫を重ねてできている。 実験、発表活動など、自らの工夫を重ねて取り組んでいる。	授業の振り返りを取り組みことができている。 プリントの記載を正しくできている。 活動に向けて自発的に取り組んでいる。	授業の振り返りを取り組むことができない プリントの記載や考察などが取り組んでいない。 実験や発表などに取り組むことができていない。

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	保健体育	科目	体育（2年）	学年	2	単位	2
教科書(出版社)		現代高等保健体育(大修館書店)					
副教材等(出版社)		現代保健体育ノート(大修館書店)					

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の技能に対する正しい知識を身につけ、効率的な技能を身につける。	練習計画を自ら考え、自己及び仲間の体力・技術に合わせて内容を判断でき、それを仲間に表現できるようにする。	自ら積極的に運動に取り組むことができ、その技能の成り立ちについての興味・関心を持ち、研究していける態度を育てていく。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・オリエンテーション ・陸上競技 ・球技 (バドミントン・バレーボールなど) ・水泳(女子)	○体育の授業における注意事項の確認 ○短距離走・リレー・幅跳び・高跳び等の記録計測 ○クロール・平泳ぎ等の記録計測 ○基礎練習・ゲーム・実技テスト	24
2	・水泳(男子) ・球技 バドミントン バスケットボール サッカー など	○基礎練習・基本的なルールの理解 ○自ら進んで試合・ゲームに参加する ○基本的な技術の習得を目指し実技テストを実施する	30
3	・陸上競技(長距離走)  ・球技	○走る時間は1回の授業につき12分間とする。 ○自分のペースを意識させながら走れるよう指導する。 ○雨天の場合は体育館にて時間を設定して走る。 ○自ら進んで試合・ゲームに参加する	16

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ・運動の技能の高さ ・競技、ゲームや技能に対する知識	実技テスト 学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	運動に対する高い機能を身につけており、競技・ゲームのルール等の知識を有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識を概ね有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識が不十分である。
【思考力、判断力、表現力等】 ・練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できているか。	実技テスト 学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できている。	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習することが概ねできている。	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できていない。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習活動に取り組み、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できているか。	学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	積極的に学習活動に取り組み、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できている。	積極的に学習活動に取り組み、仲間と協力しながら、役割を果たし活動することが、概ねできている。	積極的に学習活動に取り組み、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できていない。

## ※具体的な評価方法等

- ・学習全体の出席・活動状況を各学期 15 点満点で評価、実施各種目について時間配分を考慮し配点を決定し、上記の観点別に総合評価する。

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	保健体育	科目	保健（2年）	学年	2	単位	1
教科書(出版社)		現代高等保健体育（大修館書店）					
副教材等(出版社)		現代高等保健体育ノート（大修館書店）					

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・生涯に通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。	・生涯を通じる健康に関する情報から、課題を発見し、健康に関する原則などに着目して、解決の方法を思考し判断しているとともに、表現している。	・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性への関心・欲求と性行動 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性への関心・欲求と性行動 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	○思春期には生殖器が発達し、不安や悩みが多いことを知る。 ○性意識には男女で差があるため、不正確な情報に惑わされないことを知る。 ○母体の健康維持と、母子保健サービスの活用について理解する。 ○安全で確実な避妊法を選ぶこと、人工妊娠中絶は女性にとって大きな負担となることを理解する。 ○心身の発達が結婚生活の基盤となり、よいコミュニケーションが結婚生活をささえることを理解する。	12
2	生涯を通じる健康 ・中高年期と健康 ・医薬品とその活用 ・医療サービスとその活用 ・保健サービスとその活用 ・さまざまな保健活動 社会生活と健康 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	○中高年期を健やかに過ごすために、健康を支える取り組みが進んでいることを理解する。 ○正しい使い方が医薬品の効果を高め、医薬品の安全性を守る取り組みがあることを理解する。 ○だれもが必要な医療を受けられ、医療機関の役割を知ることでサービスを上手に活用することを理解する。 ○保健行政は健康づくりを支援し、私たちの活用方法を理解する。 ○ヘルスプロモーションにもとづく活動が私たちの健康を支えていることを理解する。 ○大気を汚染する物質が放出されていることで、健康にさまざまな影響を及ぼすことを理解する。 ○水質汚濁や土壌汚染は健康にさまざまな影響を及ぼすことを理解する。	15
3	社会生活と健康 ・環境汚染を防ぐ取り組み ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全を守る活動 ・働くことと健康 ・働く人の健康づくり	○中高年期を健やかに過ごすために、健康を支える取り組みが進んでいることを理解する。 ○正しい使い方が医薬品の効果を高め、医薬品の安全性を守る取り組みがあることを理解する。 ○だれもが必要な医療を受けられ、医療機関の役割を知ることでサービスを上手に活用することを理解する。 ○保健行政は健康づくりを支援し、私たちの活用方法を理解する。 ○ヘルスプロモーションにもとづく活動が私たちの健康を支えていることを理解する。 ○大気を汚染する物質が放出されていることで、健康にさまざまな影響を及ぼすことを理解する。 ○水質汚濁や土壌汚染は健康にさまざまな影響を及ぼすことを理解する。	8

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 健康に関する知識を理解し、情報に興味関心を持ち、健康的な生活を送ることができるか。	テスト 日常生活観察 ノート提出評価	【知識及び技能】 健康に関する知識を理解し、情報に興味関心を持ち、健康的な生活を送ることができる。	【知識及び技能】 健康に関する知識を理解し、情報に興味関心を持ち、健康的な生活を送ることが概ねできている。	【知識及び技能】 健康に関する知識を理解し、情報に興味関心を持ち、健康的な生活を送ることができていない。
【思考力、判断力、表現力等】 健康に関する知識をもとにその原因、を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができる。	授業内での発表 ノート提出評価	健康に関する知識をもとにその原因、を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができる。	健康に関する知識をもとにその原因、を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることが概ねできている。	健康に関する知識をもとにその原因、を考え、自らの生活行動に適した方法で取り入れることができていない。
【学びに向かう力、人間性等】 健康に関する知識を得るために真剣に取り組む、それを生かそうと努力しているか。	ノート提出評価 授業内での対座、発表内容等	健康に関する知識を得るために真剣に取り組む、それを生かそうと努力できている。	概ね、健康に関する知識を得るために真剣に取り組む、それを生かそうと努力できている。	健康に関する知識を得るために真剣に取り組む、それを生かそうと努力する態度が不十分である。

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	2	単位	4
教科書(出版社)	COMET English Communication Ⅱ (数研出版)						
副教材等(出版社)	COMET 基本文法定着ドリル2 (数研出版) Listening Trial Stage 1 (文英堂) フェイバリット英単語・熟語<テーマ別>コーパス 1800 3rd Edition (東京書籍)						

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本構造を理解し、簡単な英文を読んだり聞いたりして大まかな内容を理解できる。英語の基本文法を理解し、正しい用法を選択できる。	簡単な英語を用いて自分の考えを伝え、相手とやり取りすることができる。簡単な英文法を用いて自分の考えを短い英文で書いて表現できる。	積極的にコミュニケーション活動に参加している。積極的にワークシートに取り組んでいる。日常的に単語の学習をし、語彙力を向上させている。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	Lesson 1 Places Worth Visiting Lesson 2 Iwago Mitsuaki Lesson 3 The Haka Lesson 4 Digital Detox	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。</li> <li>英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。</li> <li>時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。</li> <li>ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。</li> <li>スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。</li> <li>コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。</li> </ul>	48
2	Lesson 5 Goal Setting Lesson 6 The High School Hair Salon Lesson 7 You Can Make a Difference Lesson 8 Nudge	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。</li> <li>英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。</li> <li>時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。</li> <li>ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。</li> <li>スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。</li> <li>コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。</li> </ul>	60
3	Lesson 9 The Father of Braille Blocks Lesson 10 Do We Need That?	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読、発音練習により音声と綴りに慣れる練習をする。</li> <li>英文を和訳し、代名詞が指すものを確認し、英文の意味を理解する練習をする。</li> <li>時間やお金など生活に身近な英文を聞き、理解する練習をする。</li> <li>ALT・JET との TT を行い、発表活動や英会話を通して英語で表現する練習をする。</li> <li>スタディサプリ、基本文法定着ドリルを使用し、基礎的な文法事項の定着をさせる。</li> <li>コーパス 1800 や教科書の新出単語や英語表現を学習し、語彙力を高める。</li> </ul>	32

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その情報や考えなどの概要をとらえ理解している。	考査の選択問題	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【思考力、判断力、表現力等】 英語でしかかれた質問に対し、自分の考えを語順等に気を付けながら平易な英語を用いて伝えている。	考査の記述問題	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーション活動に参加している。意欲的に英語を練習し、単語の学習やプリントの書き込みを行っている。	授業態度 提出物 単語テスト 発表活動	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。

## 都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2	単位	2
教科書(出版社)	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)						
副教材等(出版社)	家庭科 55 デジタル+ (教育図書)						

## 1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決しようとする力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする姿勢や、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

## 2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	①充実した生涯へともに生きる	①超高齢社会を生きる 高齢期の生活 高齢社会を支える 充実した高齢期へ 社会保障制度と社会的連帯 人の多様性と社会参加	① 12
	②衣生活をつくる	②私たちと衣生活 被服の機能 被服の選び方 被服の素材	② 12
2	①経済生活をつくる	①私たちの暮らしと経済 消費者問題を考える 契約とは 消費者問題はなぜ起きるのか 多様化する支払方法とリスク管理 消費者の自立と行政の支援	① 14
	②衣生活をつくる	②被服材料と管理 衣生活の継承と創造 持続可能な衣生活 被服製作の基本	② 14
3	①住生活をつくる	①私たちと住まい 平面図の活用 安全で安心な住まい	① 9
	②これからの生き方と家族	②生涯発達する自分 ワーク・ライフ・バランスを求めて 家族・家庭・世帯 結婚と変化する家族	② 9

## 3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】	定期考査 実験・実習 ワークシート・レポート	与えられた課題・実習に対して、十分に理解している。	与えられた課題・実習に対して、半分以上の理解をしている。	与えられた課題・実習を理解していない。課題・実習に取り組んでいない。
【思考力、判断力、表現力等】	ワークシート・レポート 授業態度 定期考査	考察や自分の考えをまとめ、表現できる。発表活動などで発展的な課題を生成し、成果を発揮することができる。	発表活動などに自発的に取り組み、成果を発揮することができる。	発表活動などにおける調べ学習・考察を行わず、成果を発揮できない。
【学びに向かう力、人間性等】	実験・実習 ワークシート・レポート 授業態度	課題や実験、実習に主体的に取り組み、プリント等の記載が工夫を重ねてできている。	課題や実験、実習をおおむね適切に行うことができ、プリント等の記載が正しくできている。	課題や実験、実習を誤った手順でしたり、他人に委ねるなど参加していないことが多い。プリント等の記載や考察などができてない。

## ※具体的な評価方法等

達成率	50%未満		50%以上 80%未満	80%以上	
観点別学習状況	C		B	A	
評定	1	2	3	4	5